

■ 平成 25 年度に取り組んだ主な事業内容（一般会計）

町有施設の整備に関する取組み

- ・三春町役場庁舎整備事業計画を策定し、公募型プロポーザル方式により設計業者を選定し、また、議会や商工会、職員等と協議しながら基本設計の作成を進めました。
- ・閉校中学校の利活用公募を行い、旧沢石小学校については1者から応募があり、選定委員会を開催して利用者を決定し、26年1月に無償貸付契約を締結しました。
- ・三春小学校校舎及び体育館の耐震補強大規模改造工事について、24年度に設計業務を行い、25年度から工事に着手しました。
- ・公共施設長期修繕計画を策定し、計画に則って旧公民館の解体や町営住宅の屋上防水工事などを実施しました。
- ◆ 新庁舎整備事業設計業務委託等・・・3,112万円
- ◆ 三春小学校改修工事費、工事監理委託費、引越業務等2億5,744万円
- ◆ 旧公民館解体工事費・・・3,106万円
- ◆ 舞木団地屋根改修工事、八雲団地屋上防水工事費2,479万円
- ◆ 公有施設整備基金積立金・・・2億1,421万円他

人口減少・少子化対策に関する取組み

- ・「保育所の公設民営化を含めた今後の保育所・幼稚園の方向性について」の保護者説明会を開催し、また、保育所の管理運営を指定管理者が行えるようにするため、保育所条例の改正を行いました。
- ・風しんが全国的に流行したことから、成人の風しんワクチン接種の助成事業を開始し、妊娠出産を希望する女性と妊婦の配偶者のワクチン接種を勧奨しました。
- ・「三春町定住促進計画」に基づく各種施策を展開し、賃貸住宅建設促進事業奨励金1件、賃貸住宅家賃助成金6件の交付を行いました。
- ・ブータン王国と三春町の未永い友好関係と草の根交流を展開することを目的として、ブータン三春協働実行委員会を設立し、滝桜の子孫木植樹を行うためブータン友好訪問団を派遣しました。
- ◆ 児童手当支給事業・・・2億6,662万円
- ◆ すくすく赤ちゃん応援事業・・・701万円
- ◆ 子育て支援医療費助成事業・・・7,067万円
- ◆ 乳幼児健康診査事業・・・1,002万円
- ◆ 放課後子どもプラン推進事業・・・627万円
- ◆ 賃貸住宅家賃助成金、賃貸住宅建設促進事業奨励金192万円他

産業振興による地域活性化に関する取組み

- ・町道北町荒町線改良事業については、用地補償や改良工事の発注を進めましたが、24年度発注区間で法面崩落が発生したため工事を休止し、対策のための調査設計を行いました。
- ・桜川河川改修工事に合わせ、大町橋から不動橋間の石張舗装工事を発注し良好な景観整備を進めるとともに、百杯宴広場整備の実施設計を行いました。
- ・耕作放棄地の解消を図るため、町が農地等の仲介を行い、企業の農業参入を支援しました。
- ・町民の雇用促進を図るため雇用促進奨励金制度を創設し、工場等を増設した法人に対して工場等立地促進条例に基づく奨励金を交付するとともに、新たに操業を開始した法人を奨励金対象工場に指定しました。
- ・滝桜観桜時期の対策として、臨時バス「滝桜号」や無料シャトルバスの運行、臨時駐車場の設置などを行い、渋滞緩和策を講じました。
- ・27年春に行われる「ふくしまデスティネーションキャンペーン」を見据え、観光資源の掘り起こしを行い、また、三春春まつりや時代行列、盆踊り、だるま市など、年間を通して楽しめる観光事業を実施しました。
- ◆ 町道北町荒町線道路改良工事、補償費等（前年度繰越事業含む）7,662万円
- ◆ 百杯宴広場実施設計業務、土地購入・・・548万円
- ◆ 三春秋まつり実施運営補助・観光振興事業1,304万円
- ◆ 滝桜臨時駐車場管理業務委託・・・4,830万円
- ◆ 中山間地域等直接支払推進事業・・・7,252万円他

安全で安心して暮らせる生活環境に関する取組み

- ・町道太田線ほか7路線の改良、舗装補修事業を実施し、生活道路整備事業実施区域として10地区を選定し、助成金を交付しました。
- ・中町地内に耐震地下式貯水槽、実沢及び蛇石地内に地上式無蓋防火水槽を整備し、防災及び消防施設・設備の充実を図りました。
- ・東日本大震災復興交付金を活用し、貝山地区に避難広場を整備しました。
- ・県補助金を活用し、交流館「まほら」及び町民体育館に太陽光発電設備を整備しました。
- ・平沢町営墓地を造成し、墓地区画数91区画のうち38区画を分譲しました。
- ◆ 太田線道路改良工事（前年度繰越事業含む）・・・5,333万円
- ◆ 下舞木岩本線外道路改良工事（前年度繰越事業含む）3,009万円
- ◆ 上舞木戸ノ内2号線道路改良工事・・・752万円
- ◆ 五本木垢落薬師道線道路改良工事・・・394万円
- ◆ 四反田富沢線舗装補修工事・・・2,305万円
- ◆ 実沢線舗装補修工事・・・2,208万円
- ◆ 中央線舗装補修工事・・・2,323万円
- ◆ 道路維持工事・・・5,497万円
- ◆ 生活道路整備事業・・・774万円
- ◆ 耐震性地下式防火貯水槽（中町）工事1,225万円
- ◆ 避難広場整備事業・・・8,372万円
- ◆ 交流館「まほら」及び町民体育館太陽光発電設備工事7,278万円
- ◆ 平沢町営墓地整備工事費・・・1,541万円他

学校教育の充実とスポーツ・文化活動の推進に関する取組み

- ・学力向上推進委員会を開催し、学力検査結果の分析を基にした各学校の学力向上プランの実践と改善について協議を行い、また、キャリア教育への取組として、中学2年生の教育課程に職場体験を位置付け、関係機関の協力を得て推進しました。
- ・各小中学校がそれぞれの地域特性等による独自性を活かした取組の支援を目的とした交付金制度を新たに設け、各校において有効に活用することができました。
- ・新たに特別支援教育相談員を配置して、個々に応じた支援の充実を図り、支援の必要な児童生徒への就学指導機関として、就学指導審議会を設置・運営しました。
- ・まほら開館10周年を記念した自主事業を企画運営するとともに、運営協会10年史を発行しました。
- ・NPO法人三春町国際交流協会と連携して、姉妹都市であるライスレイク市に庭師等を派遣し、友好庭園のメンテナンス事業を実施しました。
- ◆ 特色ある学校づくり支援事業・・・240万円
- ◆ 就学指導審議会事業・・・125万円
- ◆ 交流館「まほら」自主事業関係・・・159万円
- ◆ ライスレイク市友好庭園メンテナンス事業・・・130万円他

町民の健康増進と福祉施策の充実に関する取組み

- ・集団健診の土日開催や個別（施設）健診を継続し、未受診者への受診勧奨等により受診率の向上に努めました。
- ・各種団体等に対して保健師を派遣する「きらめき健康出前講座」の周知を図り、健康学習機会の提供に努め、健康づくり推進員を委嘱し、会議や研修を通じて町の健康課題の理解を促すとともに、自身や家族、さらには地域全体の健康保持に取り組みました。
- ・田村地域の夜間一次救急診療の拠点として、田村3市町と田村医師会が協力して夜間診療所を整備、開設しました。
- ・高齢者見守り活動については、これまで町内新聞店と協定を締結し実施してきましたが、新たに町内郵便局とも協定を締結し、見守りネットワークの更なる充実を図りました。
- ◆ 田村地方夜間診療所建設負担金・・・1,298万円
- ◆ 成人健康診査事業・・・2,655万円
- ◆ 障がい者給付費・・・2億9,935万円
- ◆ インフルエンザワクチン等予防接種費・・・3,736万円他

■ 町民一人あたりに換算した経費（平成26年3月31日現在の住民基本台帳人口17,360人で計算）

● 歳入

主な歳入	
地方交付税	167,395円
国県支出金	70,539円
町税	95,614円
町債	20,219円
ひとりあたり	432,116円

● 歳出

主な歳出	
教育関係	59,972円
民生関係	101,145円
総務関係	67,927円
町債返済	51,843円
衛生関係	40,592円
ひとりあたり	406,820円